

学校だより

平成29年7月号

<教育目標> 意欲を育て 夢を育む学校

大阪狭山市立第七小学校

新学習指導要領「道徳科」について ～いじめの防止～

校長 沼田 貞治

平成30年度より道徳が教科化されます。主な改訂のポイントの一つとして「公平、公正、社会正義」が挙げられています。これはいじめの防止に直結する価値観で、いろいろな問題場面に對し、「あなたならどうするのか」を問い、**考え議論する道徳**への転換を図るものです。

「とべないホタル」というお話をご存知ですか。本校でもそうですが、いじめの防止を目的に、多くの学校で道徳の教材として取りあげられているお話です。飛べないホタルとその仲間たちの心の葛藤を取り上げています。そのうえでどのように行動すべきかを問うています。この話の重要な点は“周囲の仲間”だと思います。



道徳の授業

ロールプレイをしています

いじめの問題は、加害者、被害者の二者だけの問題だけでなく、第三者・傍観者がどのように関わっているのかが重要な問題であります。実際そうです。いじめの現場で、周囲が「やめろ」感を出していれば、いじめはそう簡単にエスカレートすることはありません。だからこそ学校では、いじめを見て知らん顔をしているのはいじめに加担していることと同じであると子どもたちに強くいっています。ぜひまた、お家でもいじめの傍観について話題にしてみてください。

さて道徳の授業ですが、「自分ならどうするのか」を問う「**考え、議論する道徳**」をめざします。そのために、例えばロールプレイ、お話の登場人物の役割を演じて、どう感じるかを味わい、そこから**考える**ことを始めます。

議論する力と言うのは、正直残念ながら七小の子たちは弱いようです。来年の教科化を見ずえながら、今年度七小では、道徳の強化週間を年数回設けて、教員が他のクラスの授業を参観し、教員自身の力量のアップをまず図っていきます。

いじめを許さない集団をめざし、取組みを続けていきます。